



発行：吾峰会岩手県支部
住所：奥州市胆沢南都田本木
電話：090-7795-3911

「支部長就任 現状の課題」

吾峰会支部長 佐々木一郎

令和7年度総会において、支部長職を仰せつかりました。

元より微力ではございますが、会の目的達成に向け、会員が有意義な時を過ごせますように、努力したいと思います。

本会は、平成二十一年に結成し、小野寺寛支部長のもと

「会員の親睦」と、「文教の振興に貢献」を主要目的として

運営してきました。途中コロナ感染症により中止を余儀なく

された年もありましたが、支部長、事務局、役員の非常な努

力により大きな感動や成果を収めできました。深く感謝申し

上げます。会費納入率は、七十%弱です。加齢は避けがたい

わけですが、若手の加入がままならず、出席・参加会員の減少傾向があります。何らかの資料や会話、話題になりました

なら、事務局や役員にご一報下されば、大いに助かります。

昨今の医学は、著しく発達しており、人生百年時代となります。後期高齢者という言葉にめげず、まだまだ先があります。

紫雲寮、如月寮、葵寮や学生時代を話し、教育を語り、現在に至るまでの経過、特技、趣味、他の団体等の紹介、終のこと等々、勉強したいことは山ほどありますね。残りの人を謳歌すべく、誘い合い参加していただければ、誠に幸甚

でございます。岩手県高等学校退職者組合の冊子等のスローガンは、「天下御免の高退連」です。本会の機能集団としての言動を忘れず、全てを気楽に話し合いたいものです。どうぞ、宜しくお願ひいたします。

あの日、あの頃 福島大学の思い出

「福大生時代があつてこそ今がある」

武田 啓佑

教育学部学校教員養成課程

平成二十年三月卒

私が福島大学教育学部に入学したのは、平成十六年四月のことです。三月に何もわからずアパートを決めに行き、わたり、見識を広めることができます。そこで、吉野ヶ里遺跡、長崎の出島を訪れたり、みんなでご当地のものを食べたりしたことは忘れられません。社会科の授業は、社会科教育学、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学、倫理学、社会学等多岐にわたり、見識を広めることができます。私は、初澤敏生だけではなく、現場を特に大切にされ、リアルな学びがたくさんできました。初澤先生は理論においても優秀な人材確保は重要な課題となっていますが、教員採用もしかりタツチする節目の世代でもあります。進化を続ける福島大学を今後も応援し続けたいと思います。そして、吾峰会岩手支部会員もどんどん増やせる

ところです。當時私は「教育学部」へと変わると聞きました。企業においても優秀な人材確保は重要な課題となっていますが、教員採用もしかりタツチする節目の世代でもあります。進化を続ける福島大学を今後も応援し続けたいと思います。そして、吾峰会岩手支部会員もどんどん増やせる



武田先生は後列中央

の仲間がいたことは大変心強かったです。さらに、北は青森、南は鹿児島から来た社会科の仲間とは、今でもつながり、情報交換をしております。当時、レンタカーを借りての東北一周旅行や卒業旅行で九州一周をしたことは、今でも昨日のことのように覚えています。社会科らしく、九州一周旅行では、知覧の特攻平和会館や福岡の防塁、佐賀の吉野ヶ里遺跡、長崎の出島を訪れたり、みんなでご当地のものを食べたりしたことは忘れられません。社会科の授業は、社会科教育学、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学、倫理学、社会学等多岐にわたり、見識を広めることができます。そこで、吉野ヶ里遺跡、長崎の出島を訪れたり、みんなでご当地のものを食べたりしたことは忘れられません。社会科の授業は、社会科教育学、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲

の仲間がいたことは大変心強かったです。さらに、北は青森、南は鹿児島から来た社会科の仲間とは、今でもつながり、情報交換をしております。(妻の実家が福島市蓬莱にあるということもあります) 大学院では、現職の先生方との学びが、教員生活の糧となり、今でも当時の学びを生かしているところです。

第九回岩手県支部定期総会開催6・i

令和七年六月一日（日）、水沢グランドホテルにおいて、第九回岩手県支部定期総会が開催されました。総会冒頭「今日の世紀に」を声高らかに齊唱し、同胞の思いを熱くしました。その後令和七年度からの二年間の活動方針、予算案、役員改選について協議が行われました。及川徹議長の下、話し合いがスムーズに進行しました。



2025/06/01

令和七・八年度の方針

- 組織拡大。令和六年度発行吾峰会「会員名簿」の活用
- 会報の発行、並びに、本部会報の送付（年二回）
- 令和八年
- 福大「母校を訪ねる旅」
- 令和九年
- 総会 研修会 懇親会開催
- 吾峰会本部との連携
- 慶弔への対応

新役員紹介

支部長	佐々木一郎	新
副支部長	横田 一平	新
監事	佐々木秀市	新
評議員	今野 俊宏	新
事務局長	及川 徹	新
幹事	吉田 美登梨	新
	高橋 佳文	新
	千田 紀一郎	再
	高橋 和子	新
	高橋 悅郎	再
	土井 祐之	新
	千葉 恭義	新
	及川 勇（新会員）	新

役員退任

感謝小野寺支部長

今回の役員改選に伴い、小野寺寛支部長、古川守人監事、市川杜夫評議員、渡邊祥子幹事は、退任となります。会の設立・発展にご尽力いただきました。心から感謝申し上げます。

研修会 講演



演題「後藤新平の生涯」
講師 後藤新平記念館
前館長 佐藤彰博氏
昭和五十四年卒
幼少期から晩年のボイスカウト総長に至るまで、新平が残した数々の功績について、熱く語っていました。「次世代を担う人材を育てる」ということが価値ある功績」のお話に感銘しました。

福大同窓吾峰会理事会が、五月十八日（日）福島大学を会場に開催されました。冒頭の挨拶で、大規模な全学再編により、令和九年度より人間発達文化学類から、教育学部に変更されることが報告されました。背景に、教員を志望する学生が減少していることがあります。令和六年度卒の就職状況において、公立学校教員採用者は、八十一名、そのうち、福島県内採用者は、五十七名という実態が語られました。卒業生の過半数が、公務員や一般企業等に就職する傾向は続いています。この再編により、教員養成機能を充実させるねらいがあります。特に小学校教員養成に注力することになります。これに伴い、残念ながら、芸術・表現コース（音楽・美術を学ぶ）は、廃止となります。同様に教員志望の減少は本県の課題でもあります。この再編により、母校が更なる発展を遂げることを、切に願っています。

※前事務局長の今野俊宏様には、九年の長きに渡って、事業の執行・会の発展に努めていただきました。心より感謝申し上げます。

お知らせ